

# 今宮駅前地区の基盤整備について

今宮駅周辺市街地は、「大阪ミナミ」に近接し、利便性に優れた立地条件を有していますが、関西本線と環状線が合流し、盛土構造の広大な鉄道敷が地域を分断するなど、地域の発展が著しく妨がられています。このため、今宮・JR難波（旧湊町）間の鉄道立体化事業の施行を契機に、駅前にもふさわしい基盤整備を、土地区画整理事業で施行します。その主な内容は次のとおりです。

- 1 今宮駅を整備し、環状線と関西本線相互の乗換がスムーズにできる利便性の高い駅になります。
- 2 平成6年6月に環状内回り線立体化が完成し、平成8年3月には、関西本線今宮・JR難波（旧湊町）間立体化が完成する予定です。（連続立体交差事業）  
平成9年3月には、環状外回り線の立体化、及び、今宮駅の整備を完了する予定です。
- 3 鉄道線路移設後、盛土を取り除いて、駅前にもふさわしい道路、公園等の基盤整備を行います。

## 事業概要

事業名称	今宮駅前地区土地区画整理事業
施行者	株式会社今宮開発センター（同業連行制度）
施行面積	約4.5ha
事業費	約90億円
施行期間	平成4年度～13年度（10年間）
権利者	西日本旅客鉄道株式会社・大阪市
事業認可	平成5年1月14日
減歩率	約45%

## 経緯

明治22年5月	大坂鉄道 湊町～柏原間鉄道開通（単線）
明治23年1月	大坂鉄道 今宮駅開設
昭和36年4月	大坂環状線暫定開通 （西九条で折り返し運転 昭和39年3月完全環状運転開始）
昭和63年12月	波速地区地振興会会長より約4600名の署名を集めて 大阪市長に陳情 西日本旅客鉄道（株）には平成元年1月陳情 （株）湊町開発センター設立
平成元年3月	関西本線今宮～JR難波（旧湊町）間連続立体交差事業都市計画決定
平成2年8月	関西本線今宮～JR難波（旧湊町）間連続立体交差事業着手 （株）今宮開発センター設立
平成4年4月	西日本旅客鉄道（株）が鉄道事業法に基づく事業基本計画変更認可 申請を近畿運輸局に申請 5月に鉄道施設変更認可申請。 （平成4年7月事業計画認可）
平成5年1月	今宮駅前地区土地区画整理事業認可
平成6年9月	今宮駅前地区土地区画整理事業計画変更認可
平成6年9月	仮換地指定
平成7年10月	都道府県波速地区総合計画推進委員会大国地区小委員会発足
平成8年3月	関西本線今宮～JR難波（旧湊町）間立体化鉄道運転開始

### ■ 土地利用（施行前・後）対照図 施行面積 44,598㎡

施行前



施行後

